

恵仁会通信（戮力協心）vol.46

発行所：医療法人社団 恵仁会 あっぶる歯科クリニック
〒901-1117 沖縄県島尻郡南風原町津嘉山 1467-3
TEL 098-889-1182 FAX 098-889-1247

発効日 2012年 12月 1日

歯の外傷について

歯の外傷は、乳幼児期に比較的高い頻度で見られます。

一般的に、女兒に比べ男児に多く、年齢では1歳6ヵ月ごろから2歳に多いといわれています。

受傷部位は上あごの前歯に多く、乳歯では破折に比べ脱臼が多いのが特徴です。

症状が軽い場合は、受傷していても気がつかなかったり、放置されることも少なくありません。

症状が見られなくても、影響を受けていてその後しばらくしてから症状が出てくる場合があります。

そのまま放置しておく、後から生えてくる永久歯に悪い影響を与える場合や、治療しても、予後が悪い場合があります。

歯を打ったときは、必ず歯科の受診をお勧めします。

外傷の予防

乳幼児は、歩き始めの時期であり、重心が高く運動機能の発達が不十分です。

そのため、転倒しやすく、受身も取れないため顔面を受傷しやすい傾向にあります。

この点を周知しておくことが大切です。

具体的には、本人への注意はもちろんですが、行動範囲内にあまり物を置かないようにすること、特に家具の角にクッションをはったり、口に入れやすいおもちゃなどは、きちんと片づけることが日常に出来る予防です。

しかし、気を付けていてもぶつけてしまう事があります。

その場合は出来る限り速やかに受診しましょう！